

## 各地で奮闘！沖縄支援・平和広告などの取り組み

### 各地のうごき その1

○ **内原・友部平和の会**：10月16日事務局会議。沖縄知事選カンパ1万円を会の財政から出す。チラシは友部地域3500枚、内原地域3500枚を商業新聞に折り込む。平和広告は昨年実績の66口以上を実現する。ワインは70本以上協力販売するなどを申し合わせ、そのためにも23日の秋の集いを楽しむ。また、会の規約も出来上がり多くの会員を迎えようと話し合いました。

○ **鹿行平和委員会**：10月28日ブロック会議。31日に潮来市内2ヶ所の団地を5人で1000枚配布。11月2日～16日まで、夕方に潮来市内で宣伝カー行動実施。神栖市でも実施する。平和広告は60口以上実現する。沖縄カンパは1万円。

○ **土浦平和の会**：10月19日幹事会。沖縄カンパは1万円、会の財政から出す。平和広告は常任理事会の要請の60口以上をやる。11月3日に土浦駅頭チラシ配布宣伝を行う。

○ **ふじしろ平和の会**：10月18日幹事会。沖縄カンパは1万円、チラシは藤代駅頭配布、11月18日に取手平和委員会と協力して実施。平和広告は昨年の73口以上をやり遂げる。

○ **下館平和委員会**：10月16日事務局会議。10月下旬に4人で宣伝カー行動、筑西市内の4町村を宣伝。平和広告昨年の58口以上やる。

○ **常陸太田平和の会**：10月12日事務局会議。20日に3人でチラシ450枚配布。残りのチラシ1500枚は後日に配る。平和広告は昨年の35口以上を実現する。30日に総会を開催する。

○ **ひたちなか平和の会**：大和田会長、人見事務局長が奮闘。500枚のチラシ配布。4500枚の商業紙折込。会長先頭に平和広告を昨年の60口を上回る努力奮闘中。

各平和の会・平和委員会のご多忙とは存じますが、この秋、最大の取り組みにご奮闘をお願いします。



### 千カラになった秋の学習会 『沖縄問題と日米同盟』を学ぶ

差し迫った11月の沖縄県知事選は、「沖縄が変われば日本が変わる」といわれるほど、日米安保条約をゆるがす大きな政治的課題を背負っています。県内に支援連帯の輪を拡げるために、10月24日に沖縄支援連帯の意味をかねて、グリーンパレス石岡において学習会を開催しました。

「沖縄県知事選の意味＝沖縄問題と日米同盟を考える」と題して、労働者教育協会会長の山田敬男さんを講師に迎え、県内から35名の参加がありました。講義約2時間、質疑討論50分の熱い学習会となりました。

沖縄問題では、普天間基地は、国際法に照らしても安保を認める・認めない以前に返還されなければだめな基地であり、沖縄の闘いの総まとめが今度の沖縄県知事選であること、そして、「沖縄の意識」と「本土の意識」とのズレを埋めることに連帯して闘う意義があることが強調されました。日米同盟とは何かでは、日米安保体制の成立から、今日の日米同盟の問題まで歴史的経過を踏まえ、その狙いや深刻さ・矛盾点・問題点などを学びました。情勢をみる場合、憲法・貧困・安保の3つの面で捉えること、憲法9条と25条を結びつけて日米安保を議論することが大切であるという観点が示されました。いずれにしても、「自由に議論する場を、職場・地域に網の目のように作ってゆくことが大事」だということが改めて確認されました。(小林)

### 「守谷平和の会ニュース」

#### 100号！おめでとうございます

守谷平和の会では、「守谷平和の会ニュース」を発行してから4年3ヶ月で、100号に達しました。会員の皆さんとのつながりを深めるため、今後も月2回の発行を目標に取り組みます。

### 普天間「日米合意の撤回を」

= 名護市議会可決 =

名護市議会は10月15日、「日米合意」の撤回を求める決議と意見書を17対9の賛成多数で可決しました。名護市議会が普天間基地の「県内移設」に反対の決議をあげたのは初めてのことです。1月の名護市長選で「辺野古移設」反対を掲げた稲嶺市長の誕生と、9月の市議選で市長を支える与党勢力が圧勝したことに続く画期的なものです。決議は米大統領らあて、意見書は菅首相や仲井間知事らあてです。

決議では「日米合意」について、「名護市民及び県民の意思に沿うものではなく、頭越しに行われたものであり、民主主義を踏みこむ暴挙として、また沖縄県民を愚弄するものとして到底許されるものでない」として、その撤回を強く求めています。

市議会ではまた、垂直離着陸機MV22オスプレイの沖縄配備計画の撤回を求める決議・意見書を全会一致で可決しました。

#### 【前号 NO.577 の記事の訂正】

新入会員のご紹介で、下記の間違がありました。

訂正してお詫びいたします。

(誤) 飯田健夫さん(笠間市)

(正) 飯嶋健夫さん(笠間市)

### 平和新聞

2010年11月5日(金曜日)

1940号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9平和会館  
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

**平和かわら版** 平和新聞茨城版 No. 578  
2010.11/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

# 尼港事件の思い出



みとみなみ平和の会 高野倉 寛 (96歳)

平和かわら版No.576 (10月15日発行) に載った秋山さよ子さんの「ニコラエフスク (尼港) 事件と庄蔵さん」を拝見、私も思い出があります。

私は茨城県北部、現在の常陸大宮市小貫で大正2年(1913)11月に生まれ、大正9年(1920)に4月に小学校に入学したのですが、たしか1年生の年だったと記憶するのですが、学校で村葬がありました。兵隊さんが戦死したのでその葬式とのことでした。

後で分かったのですが、その戦死した兵隊さんは、私の隣に住んでいる一人暮らしの50歳位の猿田はなさんの息子さんで猿田亀吉さんとのことでした。

私が小学6年生になったとき、学校で受持の先生から「尼港の惨劇」という歌を教えられ唱いました。

「黒竜江の底深く投げ捨てられし同胞 (はらから) は、氷と共に浮きいでて、間宮の瀬戸に流れけん」とかいう歌詞で、先生は日本人として決して忘れてはならないと、力をこめて話されました。

成人してから、この事件について本を読み、概要を知りました。大正6年(1917)11月、ロシア革命が起きレーニンらがソビエ

ト政府をつくり、大正7年(1918)ソビエト政府が戦争 (第一次世界大戦) 終結を宣言、ソビエト国内では従来の白系ロシアの人と、新政府のバルチザン (民兵) との争いが残っていた模様で、アメリカ、イギリス、日本は、共産主義が自国に侵入することを恐れ、シベリアに兵を出したことを知りました。この尼港事件は、バルチザン (新政府の民兵) と、出兵中の日本軍との戦いだったことを知りました。



みとみなみ平和の会員の高野倉寛さん(96)の記事が、10月30日付け「しんぶん赤旗」の『伝えよう-侵略戦争の真実-戦後65年』シリーズの「中国戦線③」に紹介されています。

1939年7月、在蘇州日本領事館警察署で巡査をしていた時、同僚から聞いた出来事を伝えています。当時領事館内には、中国人専用の留置場が2室あって、1部屋に4人、他方の部屋に8人が収容されていました。収容されていた中国人の留置人1人が天井窓を破って逃走した事件が起きました。探索したが発見できず、数日後、留置人全員をトラックに乗せて蘇州城外に連れ出して、全員を殺害して穴に埋めた出来事でした。

高野倉さんは、この日は非番でした。「当直に就いていたなら私も『首切り』をさせられていました。命令は拒めない」と回想します。そして、「戦争は嫌いです。世の中に働きかけないと平和は守れません」と話しています。

## 「9条の会ごか」日帰りバスツアー

茨城空港・百里基地、予科練平和記念館

日時：11月20日(土)

午前8時「公民館前」、8時10分「善照寺」など

参加費：1人3,000円(バス代、入館料込み)

別途食事代1,000円程度

どなた様でも参加下さい。ご希望の方は、氏名・住所・電話番号を下記へ、電話又はFAXにて申し込みください。

「9条の会ごか」事務局 善照寺内

Tel.: 0280-84-0726 Fax.: 0280-84-1859

\*参加申し込みの方には、改めて詳細を連絡致します。

\*受付締め切り：11月13日(土)

## 9条の会とうかい「平和ツアー」

アウシュビッツ平和博物館へ

いのちと平和の尊さを学び伝える

市民の手づくりミュージアム

日時：12月4日(土)～12月5日(日)

料金：1泊2日で1万円程度

交通手段：乗用車に分乗(5～6台)

・12/4 9:30 東海発、アウシュビッツ平和博物館見学等

・12/5 白河市内観光(ガイド付き)、15:00 東海着予定

申し込み締め切り：11月24日

申し込み先：Tel: 029-282-9067(加藤), 029-284-0761(大名)

## 『代表理事・常任理事はこんな人』

第六回目は、常任理事・中山 熙之さんです。



平和行進に参加された方は私を見ているかも知れない。去年と今年の2回、県内を通し行進したから。そのうち、北海道から通して歩いてみたい。

さて、今年の6月から週2回水戸の事務所に通っている。財政を担当。パソコンでの処理方式にバグがないか確かめながらやっているのだから時間が掛かる。1シーズン過ぎないと、業務内容に通じないだろう。去年までは、新聞も財政も、パソコン操作を伊達遊君がコナしていた。操作の実務を知らない親父さんの、時には無茶な注文を受けながら。その苦労が偲ばれる。若いとは言え、よくも一人でもできたものだ。脱帽。

## 前進座公演 夢千代日記

海鳴りする山陰の温泉町・・・

置屋の女将、夢千代と心を寄せ合って生きる女たちが織りなす —— 人間模様

NHKドラマで人気を博し、映画・舞台化されてきた本作。戦後65年を機に新たな創造に挑みます。

原作/早坂暁、演出・台本/志賀智雄、橋本英治。

出演/今村文美、高橋佑一郎、いまむらいずみ、ほか。

12月7日(火)～12月10日(金) 浅草公会堂

問い合わせ：前進座 (Tel/0422-49-2811)

★12月10日(金)(10時半開演)は、「平和委員会」で案内を受けた旨申し出により、優待観劇料金となります。  
一等席 6000円(一般7000円のところ)二等席 4000円  
三等席 2250円